



# あさひっ子

学校だより 第12号  
令和8年 2月 2日  
鳥栖市立旭小学校  
文責 校長 長野 篤志



## 1月授業参観

1月27日に、授業参観を行いました。

各学級や各学年で、教科等の授業や発表会形式の授業、保護者参加型の授業等、いろいろな授業公開を提案できました。お忙しい中、ご参観いただきありがとうございました。

さて、鳥栖市では、平成27年度から教科「日本語」を教育課程に取り入れております。「日本の言語や文化に親しむことにより、日本語の持つ美しさや、日本人が持っている感性、情緒を養い、日本人としての教養を身に付け、我が国の言語や文化を継承し、新たな創造へとつなげていく態度を育てる」を目標に、小学校1年生から中学3年生まで、教科書教材を中心に指導を行っています。

今回の参観授業では、この教科「日本語」の授業も公開されました。1年生では、「カルタであそぼう」で、ことわざカルタを使い、楽しみながらことわざに触れ、保護者の皆様も一緒に活動されている姿がありました。2年生では、「カルタをつくろう」で、作ったカルタで友達や保護者と楽しむ姿がありました。5年生では、「ぐっとくる〇〇のセリフを見つけよう」で、「アニメ」「ドラマ」「映画」「文学」…から、自分に勇気を与えてくれたセリフ、心を支えてくれるセリフ等、自分だけでなく、友達にも紹介していく姿がありました。

このように、言語や文化を、より身近に感じさせ日常生活と関係づけ、他教科等と関連付けながら考えたり、表現したりできるのが、教科「日本語」の授業です。また、礼儀作法やマナーに関する事にも触れていました。次項で、6年生の実践を紹介します。



教科「日本語」の教科書です。

## 日本語、大好き

しりたい つかいたい つたえたい

教科「日本語」教科書の裏表紙には、このような口ゴを入れています。「いいな」と感じたことを「伝えたい」。このような子を育てていきたいです。

## 6年生の実践

先ほど、礼儀作法やマナーに関する事にも触れていました。6年生の実践を紹介します。

### 【授業参観】

6年生でSNSに関する授業が行われました。

現代社会では、子どもたちもゲーム機やスマートフォン等を使って、気軽にコミュニケーションを行うことができます。ただし、何気ない文字情報のやり取りでは、真意が伝わらず相手に誤解されたり、相手を悩ませたりする事案が多くあります。また、発信された言葉は、意図されず他人に共有されたり、拡散されたりします。

6年生の授業では、あるLINE上のやりとりを切り抜き、どのような課題があるか考える授業が展開されていました。

このようなシミュレーションは、他学年についても大切な課題になっています。ぜひ、ご家庭でも取り組まれてください。

※ SNSに関するトラブルについて、学校での指導には限界があります。あらためて、お子様に情報ツールを持たせる責任と、使用制限は保護者にあることをご確認ください（「すぐーる」8/27鳥栖市教育委員会から発出の「児童生徒のスマートフォン等に関する指針について」鳥栖地区小中学校PTA連合会を参照）。

### 【マナー検定】

1月末に、6年生各クラス毎に「マナー検定」を行いました。今年度は、卒業式に向けて意識を高めていくことを大きな目標としていました。

内容は、各クラス5~6名ずつ、校長室でグループ面談を行うものです。校長から「将来の夢は何ですか」「それに向かってがんばっていることは何ですか」の問い合わせに対して、一人ずつ答えさせていただきました。

どのクラスも、緊張感をもって取り組んでいました。社会に出た際の「面接」のような状況設定ですので、姿勢、声、態度、表情、受け答え等、日常あまり意識しない部分を考えさせていただきました。

## 感染症警報（注意喚起）！

1月末、今年度初めて2学級の学級閉鎖を行いました。また、今週も学級閉鎖を行っています。

昨年末は、のどの痛みや、腹痛、嘔吐が多かったのですが、今年は、諸症状と発熱からインフルエンザBと診断されるケースが増えているようです。

これからは、花粉等のアレルギー症状も重なり、体調不良になりやすい季節となります。皆様、体調管理をしっかり整えられるようお願いいたします。